

# 宮崎県感染症週報

宮崎県感染症情報センター：宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

## 宮崎県第12週の発生動向

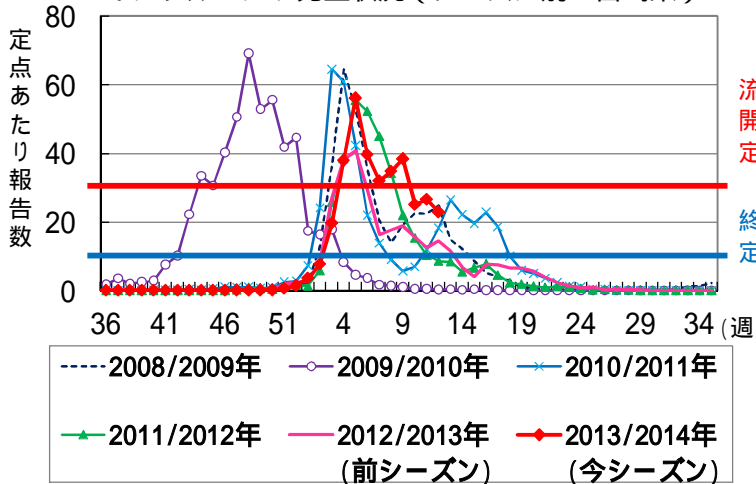
・定点医療機関からの報告総数は2,071人（定点あたり44.9）で、前週比88%と減少した。前週に比べ大きく増加した疾患はなかった。減少した主な疾患はインフルエンザと感染性胃腸炎であった。

### インフルエンザ・小児科定点からの報告 【インフルエンザ】

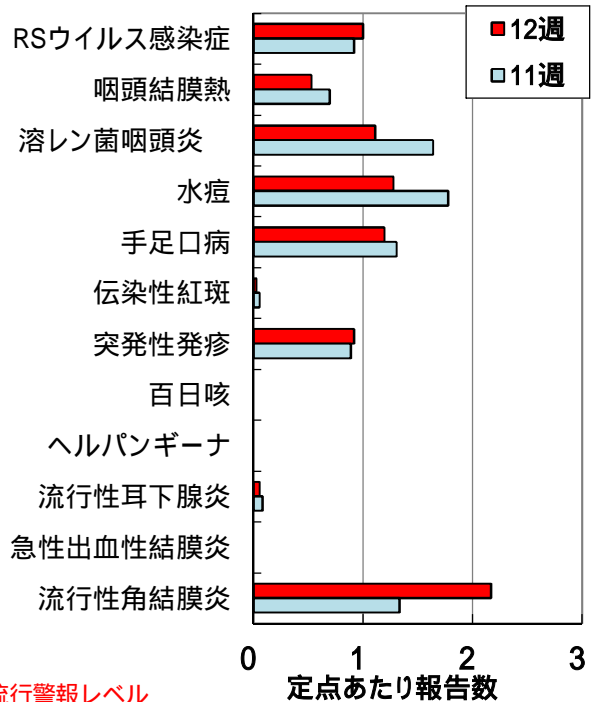
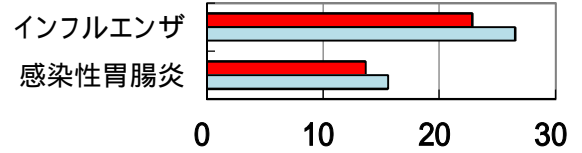
・報告数は1,346人（22.8）で前週比86%と減少した。例年同時期の定点あたり平均値\*（12.3）の約1.9倍である。小林（43.4）、都城（36.5）保健所からの報告が多く、年齢別では5歳以下が全体の28%、6～9歳が26%、10～14歳が22%、15～19歳が4%、20歳代～50歳代が16%、60歳以上が4%を占めた。

\* 過去5年間の当該週、前週、後週（計15週）の平均値

インフルエンザ発生状況（シーズン別・宮崎県）



(前週との比較)

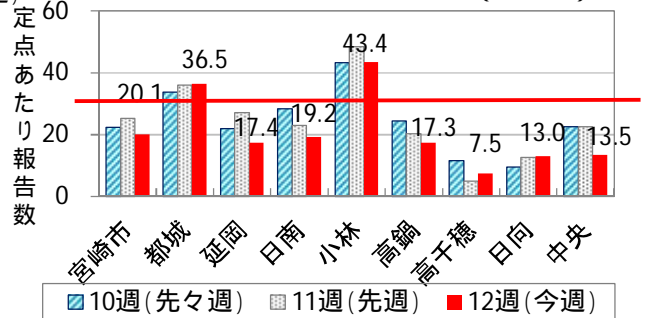


A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

流行警報レベル  
開始基準値  
定点あたり 30.0

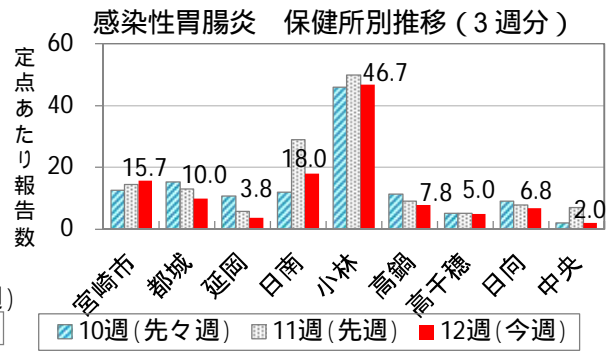
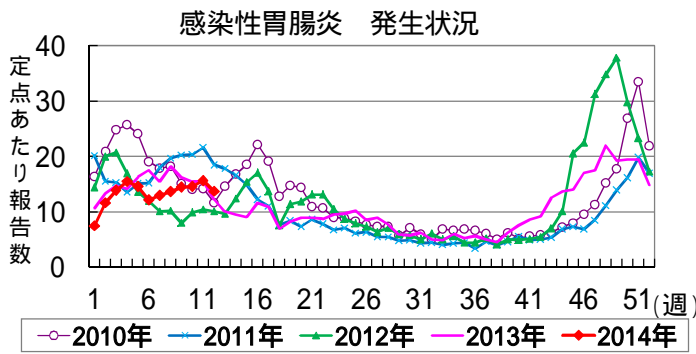
終息基準値  
定点あたり 10.0

インフルエンザ 保健所別推移 (3週分)



### 【感染性胃腸炎】

・報告数は491人（13.6）で前週比88%と減少した。例年同時期の定点あたり平均値\*（13.8）と同程度である。小林（46.7）保健所からの報告が多く、年齢別では3歳から6歳が全体の約40%を占めた。



基幹定点からの報告

感染性胃腸炎(ロタウイルス)：日南保健所管内から1人報告された。患者は1歳で群別不明。

流行警報レベル開始基準値超過疾患

保健所名	流行警報レベル開始基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	インフルエンザ(36.5)
延岡	なし
日南	なし
小林	インフルエンザ(43.4)、感染性胃腸炎(46.7)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	なし

\* 流行警報レベル開始基準値 \*

- ・インフルエンザ(30.0)
- ・感染性胃腸炎(20.0)

全数把握対象疾患 (12週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症： 報告なし。
- 2 類感染症： 結核 7 例。
- 3 類感染症： 報告なし。
- 4 類感染症： A 型肝炎 1 例。
- 5 類感染症： 侵襲性肺炎球菌感染症 1 例、梅毒 1 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	病型	症状等
2類	結核	宮崎市	40 歳代	無症状病原体保有者	-
			50 歳代	肺結核	-
			80 歳代	肺結核	咳、痰、発熱、呼吸困難
			90 歳代	結核性胸膜炎	発熱
			90 歳代	肺結核	痰
		都城	60 歳代	無症状病原体保有者	-
		日向	90 歳代	肺結核	-
4類	A 型肝炎	小林	60 歳代	患者	全身倦怠感、発熱、食欲不振、肝機能異常
5類	侵襲性肺炎球菌感染症	宮崎市	60 歳代	患者	発熱、全身倦怠感、意識障害、項部硬直、髄膜炎、菌血症
	梅毒	宮崎市	40 歳代	早期顕症梅毒( 期)	直腸炎

## 病原体情報（衛生環境研究所微生物部 2014年3月23日までに検出）

### ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取日	臨床症状等	検出材料	検出日
インフルエンザAH3型	7	男	2014.1.31	インフルエンザA、38.8、上気道炎	鼻汁	2014.3.20
インフルエンザAH3型	6	女	2014.2.26	インフルエンザA、38.6、上気道炎	咽頭ぬぐい液	2014.3.15
インフルエンザAH1pdm09型	3	男	2014.2.17	インフルエンザA、39.2、上気道炎	鼻汁	2014.3.20
インフルエンザAH1pdm09型	6	女	2014.2.17	インフルエンザA、39.9、上気道炎	鼻汁	2014.3.20
インフルエンザAH1pdm09型	4	女	2014.2.17	インフルエンザA、39.0、鼻水	鼻汁	2014.3.20
インフルエンザAH1pdm09型	9	男	2014.2.20	インフルエンザA、38.5、上気道炎、胃腸炎	鼻汁	2014.3.20
インフルエンザB型 (山形系統)	10歳代	女	2014.2.21	インフルエンザB、38.0	咽頭ぬぐい液	2014.3.20
インフルエンザB型 (山形系統)	10	女	2014.2.24	インフルエンザB、38.1、上気道炎	咽頭ぬぐい液	2014.3.20
インフルエンザB型 (ビクトリア系統)	4	女	2014.2.19	インフルエンザB、39.1、嘔吐、嘔気	鼻汁	2014.3.20
ライノウイルス	11ヶ月	女	2014.2.27	肺炎、38.0、下気道炎	咽頭ぬぐい液	2014.3.13
ライノウイルス	1ヶ月	女	2014.3.7	肺炎、下気道炎	鼻汁	2014.3.13
ヒトメタニューモウイルス	5	男	2014.3.10	気管支炎、下気道炎、39.0	鼻汁	2014.3.13
A型肝炎ウイルス (遺伝子型 A) 再掲	60歳代	女	2014.3.5	A型肝炎、38.0、肝機能障害、胃腸炎、黄疸	便	2014.3.19
A型肝炎ウイルス (遺伝子型 A)	60歳代	女	2014.3.5	A型肝炎、黄疸、肝機能障害	便	2014.3.19
A型肝炎ウイルス (遺伝子型 A)	60歳代	男	2014.3.6	A型肝炎、37.1、黄疸、肝機能障害	便	2014.3.19
A型肝炎ウイルス (遺伝子型 A)	60歳代	男	2014.3.7	A型肝炎、39.0、黄疸、肝機能障害	便	2014.3.19
A型肝炎ウイルス	20歳代	女	2014.3.7	A型肝炎、38.2、黄疸、肝機能障害	便	2014.3.13
A型肝炎ウイルス	50歳代	男	2014.3.11	A型肝炎、全身倦怠感、食欲低下、腹部膨満感	便	2014.3.19
A型肝炎ウイルス	50歳代	男	2014.3.12	A型肝炎、発熱、黄疸、肝機能障害	便	2014.3.19
A型肝炎ウイルス	40歳代	女	2014.3.13	A型肝炎、37.3、黄疸、肝機能障害	便	2014.3.19
A型肝炎ウイルス	20歳代	男	2014.3.17	A型肝炎、38.8、黄疸、肝機能障害、筋肉痛	便	2014.3.19
A型肝炎ウイルス	50歳代	女	2014.3.15	A型肝炎、37.2、黄疸、肝機能障害	便	2014.3.19
A型肝炎ウイルス	20歳代	男	2014.3.17	A型肝炎、黄疸、肝機能障害、肝炎、風邪様症状	便	2014.3.19

インフルエンザA型と診断された小児2名からインフルエンザAH3型、4名からAH1pdm09型が検出された。インフルエンザB型と診断された小児2名からインフルエンザB型（山形系統）、1名からインフルエンザB型（ビクトリア系統）が検出された。

肺炎と診断された乳児2名からライノウイルス、下気道炎と診断された乳児1名からヒトメタニューモウイルスが検出された。

A型肝炎と診断された成人11名からA型肝炎ウイルスが検出された。また、4名の遺伝子型別を行った結果、Aに分類された。

## 細菌

同定細菌名	年齢(歳)	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
<i>Clostridium butyricum</i> (E型ボツリヌス毒素産生)	10歳代	男	2014.2.24	胃腸炎、下痢、嘔気、嘔吐、腹痛、麻痺(全身性)	便	2014.3.4
<i>Bordetella pertussis</i> (百日咳菌)	0~4	女	2014.3.7	百日咳疑、肺炎、発熱無	鼻汁	2014.3.17

宮崎県内で約 30 年ぶりにボツリヌス症が発生した。一般にボツリヌス症の起因菌としては *Clostridium botulinum*(ボツリヌス菌)が知られており、毒素の型としては A~G 型の 7 つの型がある。他に *C. butyricum* や *C. baratii* も毒素を産生する場合があり、これらの菌でボツリヌス症を発症した場合もボツリヌス菌と同様、届出の対象となる。なお、ボツリヌス毒素遺伝子は毒素の産生が起こらないサイレント遺伝子の存在が知られていることから、最終的にはマウスを用いて毒素産生の有無を確認する必要がある。今回分離された菌はマウスによる抗毒素中和試験で E 型毒素産生が確認され、*C. butyricum* と同定された。

## 全国第 11 週の発生動向

定点医療機関あたりの患者報告総数は 35.1 で、前週比 100%と横ばいであった。今週大きく増加した疾患はなかった。減少した主な疾患は水痘であった。

インフルエンザの報告数は 112,833 人(22.8)で、前週比 99%と横ばいであった。福井県(46.2)、岩手県(41.3)、宮城県(39.8)からの報告が多く、年齢別では、5 歳以下が全体の 26%、6~9 歳が 30%、10~14 歳が 22%、15~19 歳が 3%、20 歳代~50 歳代が 16%、60 歳以上が 3%を占めた。

### 全数把握対象疾患(全国第 11 週)

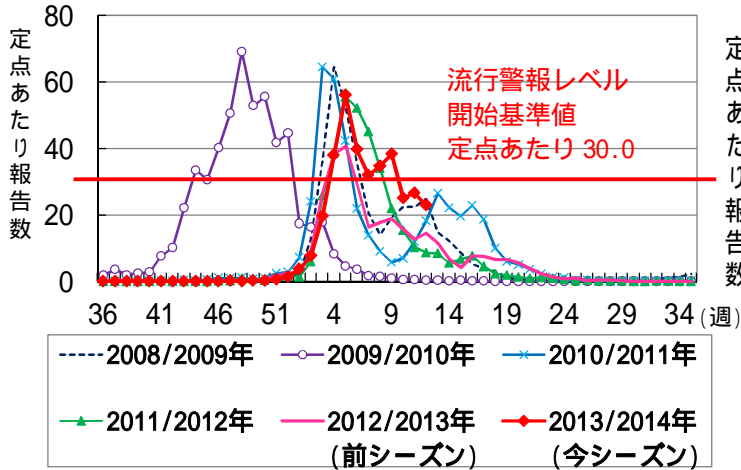
1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	354 例				
3類感染症	細菌性赤痢	2 例	腸管出血性大腸菌感染症	7 例		
4類感染症	A 型肝炎	29 例	つつが虫病	1 例	デング熱	4 例
	レジオネラ症	10 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	17 例	ウイルス性肝炎	5 例	急性脳炎	8 例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	3 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4 例	後天性免疫不全症候群	17 例
	ジアルジア症	2 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4 例	侵襲性肺炎球菌感染症	22 例
	梅毒	9 例	破傷風	1 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例
	風しん	7 例	麻しん	9 例		

# インフルエンザ情報《県内第 12 週、全国第 11 週（再掲）》

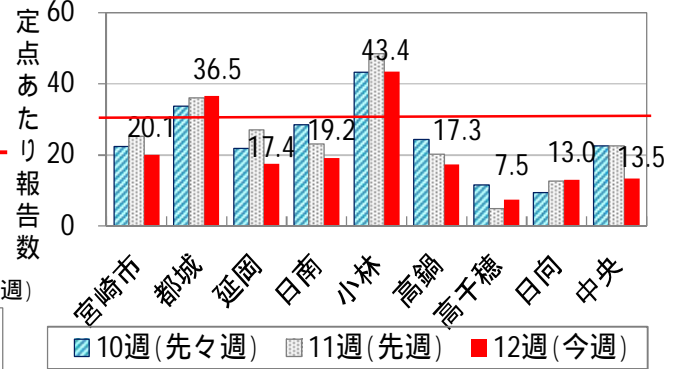
## 県内第 12 週インフルエンザ発生動向

平成 26 年 3 月 17 日～3 月 23 日までの 1 週間で 1,346 人（定点あたり 22.8）の報告があり、前週の約 9 割に減少した（図 1）。例年同時期の定点あたり平均値（12.3）の約 1.9 倍である。保健所別報告数の推移を（図 2）、年齢群別報告数の推移を（図 3）に示す。

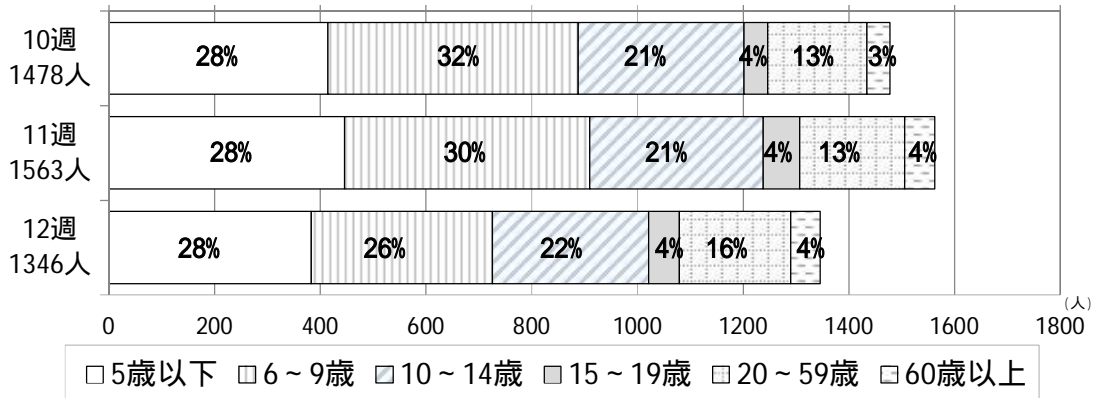
（図 1）インフルエンザ発生状況（シーズン別・宮崎県）



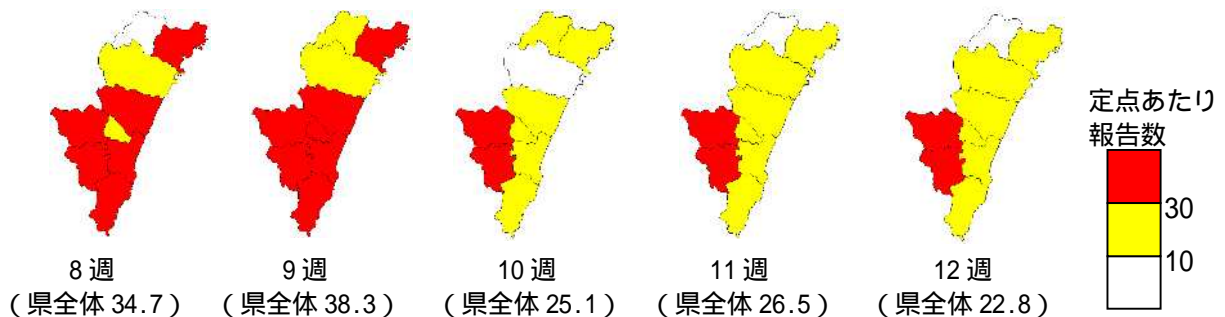
（図 2）保健所別推移（10～12 週）



（図 3）年齢群別報告数の推移（10～12 週）



保健所別インフルエンザ警報・注意報レベル状況 2014 年 第 8～12 週



## 全国第 11 週インフルエンザ発生動向

平成 26 年 3 月 10 日～3 月 16 日までの 1 週間で 112,833 人（定点あたり 22.8）があり、前週比 99%と横ばいであった。福井県（46.2）、岩手県（41.3）、宮城県（39.8）からの報告が多く、年齢別では、5 歳以下が全体の 26%、6～9 歳が 30%、10～14 歳が 22%、15～19 歳が 3%、20 歳代～50 歳代が 16%、60 歳以上が 3%を占めた。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2014年 第12週(03月17日～03月23日)

疾病名		第11週	第12週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	1563	1346	322	365	122	96	217	104	15	78	27
	定点あたり	26.49	22.81	20.13	36.50	17.43	19.20	43.40	17.33	7.50	13.00	13.50
RSウイルス 感染症	報告数	33	36	7	1	12	1	1	2		11	1
	定点あたり	0.92	1.00	0.70	0.17	3.00	0.33	0.33	0.50	0.00	2.75	1.00
咽頭結膜熱	報告数	25	19	8	2	3	5				1	
	定点あたり	0.69	0.53	0.80	0.33	0.75	1.67	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	59	40	11	5	12	3		4		5	
	定点あたり	1.64	1.11	1.10	0.83	3.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.25	0.00
感染性胃腸炎	報告数	561	491	157	60	15	54	140	31	5	27	2
	定点あたり	15.58	13.64	15.70	10.00	3.75	18.00	46.67	7.75	5.00	6.75	2.00
水痘	報告数	64	46	2	8	11	11	5	3		2	4
	定点あたり	1.78	1.28	0.20	1.33	2.75	3.67	1.67	0.75	0.00	0.50	4.00
手足口病	報告数	47	43	18	6	8	2	1	5		3	
	定点あたり	1.31	1.19	1.80	1.00	2.00	0.67	0.33	1.25	0.00	0.75	0.00
伝染性紅斑	報告数	2	1	1								
	定点あたり	0.06	0.03	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	32	33	11	3	4	1	5	3		5	1
	定点あたり	0.89	0.92	1.10	0.50	1.00	0.33	1.67	0.75	0.00	1.25	1.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	3	2	1					1			
	定点あたり	0.08	0.06	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜 炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	8	13	11	1	1						
	定点あたり	1.33	2.17	3.67	0.50	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺 炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数		1				1					
	定点あたり	0.00	0.14	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数  
下段:定点当り報告数

全数把握対象疾患累積報告数(2014年第1週～12週)

2類感染症	結核	43例(7)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	2例				
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	14例(1)	重症熱性血小板減少症候群	3例
	つつが虫病	5例	ボツリヌス症	1例	レジオネラ症	1例
5類感染症	アメーバ赤痢	3例	ウイルス性肝炎	1例	急性脳炎	4例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	後天性免疫不全症候群	2例	侵襲性肺炎球菌感染症	2例(1)
	梅毒	3例(1)	破傷風	1例	麻しん	3例

( )内は今週届出分、再掲